

# 記載例

〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 野田市長

郵便番号 278-〇〇〇〇  
住 所 野田市〇〇〇番地〇  
申請者 氏 名 野田 太郎  
電話番号 04-〇〇〇〇-〇〇〇〇

## 野田市子育てサービス等利用支援助成金交付申請書

野田市子育てサービス等利用支援助成金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

### 1 対象児童等

児童氏名 野田 花子	児童の生年月日 〇〇年〇〇月〇〇日生
在籍園名 〇〇〇幼稚園	認定番号 〇〇〇〇
認定区分 (該当の区分に〇をつけてください。) 教育・保育給付認定 第2号または第3号 <b>施設等利用給付認定 第2号または第3号</b> 育児休業明け保育所利用予約決定者	

### 2 交付申請額 ( 〇〇年 1月～ 〇〇年 3月分)

利用月	利用日	利用サービス	助成対象費用
1月	1日～31日	認可外保育施設	5,000円
2月	1日～28日	一時預かり事業	10,000円
3月	1日～31日	認可外保育施設	5,000円
			円
			円
① 助成対象費用の合計額 ( 1月分)			5,000円
② ①の2分の1			2,500円
③ 交付申請額 (②又は月額上限額のいずれか低い額)			2,500円
④ 助成対象費用の合計額 ( 2月分)			10,000円
⑤ ④の2分の1			5,000円
⑥ 交付申請額 (⑤又は月額上限額のいずれか低い額)			5,000円
⑦ 助成対象費用の合計額 ( 3月分)			5,000円
⑧ ⑦の2分の1			2,500円
⑨ 交付申請額 (⑧又は月額上限額のいずれか低い額)			2,500円
交付申請額計 (③、⑥、⑨の合計額)			10,000円

<裏面も記入してください>

### 3 振込先

金融機関名	〇〇銀行	支店名	〇〇支店
口座種別	普通 当座	口座番号	〇〇〇〇〇〇〇
ふりがな	のだ たろう		
口座名義人	野田 太郎		

※申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、委任状を提出してください。

注意：表面の助成対象費用の合計額欄は、施設等利用費の対象外部分の金額になります。

例①：十分な預かり保育を提供している幼稚園に在籍し、施設等利用給付第2号認定を受け、一時預かり事業を利用した場合（1か月にかかった一時預かり保育料 20,000 円とする）、20,000 円が助成対象費用になり、その 1/2 と野田市子育てサービス等利用支援事業の月額上限額 20,000 円を比較し、低い額である 10,000 円が交付申請額になります。

例②：十分な預かり保育を提供していない幼稚園に在籍し、施設等利用給付第2号認定（月額上限額 11,300 円）を受け、一時預かり事業を利用した場合（幼稚園の預かり保育を利用せず、1か月にかかった一時預かり保育料 20,000 円とする）、3か月ごとに提出いただいている施設等利用費の請求書で 11,300 円を支給。残りの 8,700 円が助成対象費用になり、その 1/2 と野田市子育てサービス等利用支援事業の月額上限額 20,000 円を比較し、低い額である 4,350 円が交付申請額になります。

例③：施設等利用給付第2号認定（月額上限 37,000 円）を受け、認可外保育施設（1か月の保育料 38,500 円）を利用した場合、3か月ごとに提出いただいている施設等利用費の請求書で 37,000 円を支給。残りの 1,500 円が助成対象費用になり、その 1/2 と野田市子育てサービス等利用支援事業の月額上限額 20,000 円を比較し、低い額である 750 円が交付申請額になります。

例④：保育所保留者及び入所者については、利用した子育てサービスの利用料が助成対象費用となり、その 1/2 と野田市子育てサービス等利用支援事業の月額上限額 20,000 円を比較し、低い額が交付申請額になります。